

相手をたたえるセレモニーの進行・言葉かけの例

段階	担当者	言葉	意図
初めの言葉	競技役員	(両チームの選手・監督、審判が集まったことを確認する)	確認
		両チームとも本当によい試合でしたね。	両者を賞賛
		これから、AチームとBチームの試合の振り返りを行います。	進行
		この振り返りを通じて、互いのよさをみんなで分かち合い、両チームの交流を深めるとともに、これから益々ホッケーが上手になり心を体を鍛えるきっかけにしてください。	目的を確認
運営側からの試合に関する評価	競技役員(審判)	Aチームは、パスがよくつながっていました。回りを良く見てプレーできますね。	プレイ
		強いヒットが打てますね。左足に重心がしっかり移動するから強く打てるのですね。	プレイ
		選手交代の時、ボードを高く上げ、すばやく交代できましたね。	行動・態度
		うまくいかなかった選手にも「次は決まるよ。」という励ましの声かけができていました。	行動・態度
	競技役員(審判)	カラフルなユニホーム、かっこいいよ。	その他
		Bチームは負けたけど、最後までボールを追えて、元気にプレーできたよ。	プレイ
		GK動きがすばやいね。スライディングの後、すぐに立ち上がってプレーできるね。	プレイ
		みんなの応援、ハーモニーがあって、清々しいね。	行動・態度
		スティックを短く持って、コンパクトに振ろうね。	技術助言
		あたり方が、頭をさげて、手を伸ばし、横から上手だったよ。	プレイ
		4年生ばかりのチームだけど、来年は5年生。来年はもっと上手にプレーできるよ。	期待感
		楽しそうにプレーしているね。この楽しさを皆に教えて、新入生を増やしてね。	今後の目標
両チームからの評価	Aチーム主将	最後まで、ボールにくらいついてくるガッツに「すごいな」と思いました。	プレイ(精神面)
		シュートが強く、止められませんでした。どうしたら、強いヒットが打てるのですか。	プレイ(技術面)
		失敗しても、みなが励まし、最後まで応援する姿が素晴らしいと思いました。	行動・態度
		ホッケーが鳴った時、すぐに始める状況判断が的確だと感じました。	プレイ(精神面)
	Bチーム主将	ボールがラインを出るまで追いかけていました。その一生懸命さにびっくりしました。	プレイ(精神面)
		ボールが足にあたり、痛いはずなのに、辛抱してがんばる姿にスゴイと思いました。	プレイ(精神面)
		みなで攻め、みなで守る、そしてみなで励ましあう、素晴らしいチームだと思いました。	行動・態度
		前ばかりでなく、後ろにもパスができ、四方八方見ている余裕に驚きました。	プレイ(技術面)
運営側からの振り返りに関する評価	審判員 競技役員	両チームとも、はきはきと、しっかりしゃべれました。	行動・態度
		時間を見つけて、互いのチームを応援しましょう。	行動助言
		また、休憩時間を利用して、お話をして友達になってください。	行動助言
		次の試合もがんばってくださいね。	期待感
監督からの評価	監督	指導者の方、何か発言ありますか。	指示
		点数が離れても、最後まで励まし合う姿が立派だと思いました。	行動・態度
終わりの言葉	競技役員	両チームとも、元気よく、励ましあい頑張れたと思います。	行動・態度
		こんなに、ほめてもらってよかったですね。	
		次の試合も、元気にがんばってください。	期待感
		相手チームのみなさんと、握手して別れましょう。	指示
これでAチームとBチームの試合の振り返りを終わります。	進行		
解散します。素早くスペースを空けてください。	指示		